

タブレットコンピューターを用いた森林の現地確認手法

北海道檜山振興局産業振興部林務課 主査 喜多 耕一

発表主旨

スマートフォンやタブレットコンピューターの普及によって、これらの機器が非常に安価に購入できるようになってきています。最近では1万円台で比較的高機能な Android(アンドロイド)タブレットが購入できます。

Android タブレットには、無料のアプリケーション(アプリ)がたくさん公開されており、その中には地図を扱えるアプリもあります。地図アプリの中には、GIS(地図情報システム)のデータを表示出来るものもあります。



図1 Android タブレット



図2 Geopaparazzi の画面

国有林や民有林では、GIS で林小班やさまざまなデータを電子地図データとして持っていますが、それらを使うのは事務所の机の上が主です。せっかくある GIS の地図データを現地で有効に利用出来れば、現地での作業効率の向上、業務の効率化になります。

GPS が内蔵された Android タブレットであれば、インターネット回線は不要、オフラインで地図を使用する事が出来、Android タブレットの購入代金以外はすべて無料で行う事が出来ます。

今回の発表では「Geopaparazzi(ジオパパラッチ)」というアプリを使い、森林での位置の把握や、その他便利な使い方を紹介します。

想定される利用事例

Android タブレットと地図アプリは、次のような場面で利用出来ます。

- 森林整備の計画位置の確認、土場位置等の設定
- 路網の維持管理、現況の調査
- 災害時の位置確認(他所管も含めて)
- 治山施設の現況把握、調査

etc

メモ
